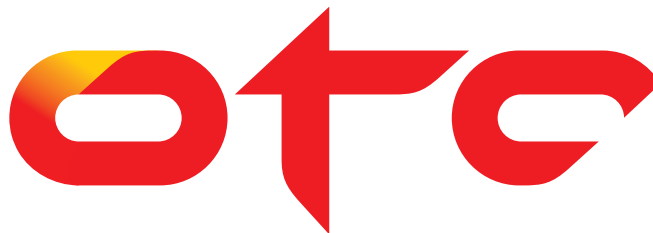


第28期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日



もしも
チタン
だったら



大阪城

強くて
サビにくい

大阪の陣でも
落城しなかったかも

株式会社 大阪チタニウムテクノロジーズ

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。
とございます。

第28期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本年6月25日に、代表取締役社長に就任いたしました川福純司でございます。当社の持続的な成長と発展に向けて前進してまいりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

2024年度上半期における我が国の経済は、好調な企業業績、国内消費やインバウンド需要の増加に伴い、雇用や所得の環境が改善する等、回復基調が続いております。一方で深刻な人手不足や物価高によるインフレ、急激な為替変動等が引き続き懸念されております。また、世界経済においても緩やかな回復基調にありますが、地政学的リスクの継続や世界的なインフレ等により、景気回復の鈍化や為替市場の変動リスクもあり、先行き不透明な状況が続いております。

こうした中であって、上半期における当社のチタン事業では、顧客における在庫適正化が完了し実需見合いの調達に移行しましたが、販売価格は正や円安効果等により、航空機用途を主体とする輸出向けスポンジチタンの売上高は前年同期比2.7%増となりました。また、一般産業用途を主体とする国内向けスポンジチタンの売上高は同24.2%減となりました。この結果、チタン事業の売上高は同6.7%減の23,968百万円となりました。

上半期における高機能材料事業におきましては、半導体製造向けスパッタリングターゲット用高純度チタンの販売量が一時的に増加したことから、売上高は前年同期比74.0%増の2,256百万円となりました。

以上の結果、2024年度上半期の全社売上高は、前年同期比2.8%減の26,224百万円となりました。損益につきましては、営業利益は6,276百万円（前年同期比59.3%増）となりましたが、上期末の円高による営業外損益（為替評価損）があり、経常利益5,019百万円（同6.2%減）、中間純利益3,523百万円（同21.7%減）となりました。

なお、2024年度の通期業績予想につきましては、ボーイング社における品質問題、ストライキ及び調達停止影響等により、前回公表予想から修正し、売上高53,500百万円、営業利益10,400百万円、経常利益9,400百万円、当期純利益6,100百万円としております。

これらを勘案いたしまして当期中間配当として1株当たり25円とさせて頂きました。また、期末配当につきましては、通期業績予想に基づき、配当予想を1株当たり20円といたしております。

当社を取巻く事業環境は、チタン事業においてスポンジチタンの需要は拡大基調にあることから、年産1万トンのスポンジチタン生産能力を増強することと決定いたしました。また、事業ポートフォリオの変革に向けて、高機能材料事業においてはオープンイノベーションを活用した新規事業の開発を更に推進してまいります。

持続可能な社会の実現に貢献すべく、サステナビリティに関する諸課題に対して事業活動を通じて積極的に取り組み、当社の中長期的な企業価値の向上にも努めてまいります。株主の皆様におかれましては、なにとぞ格段のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月

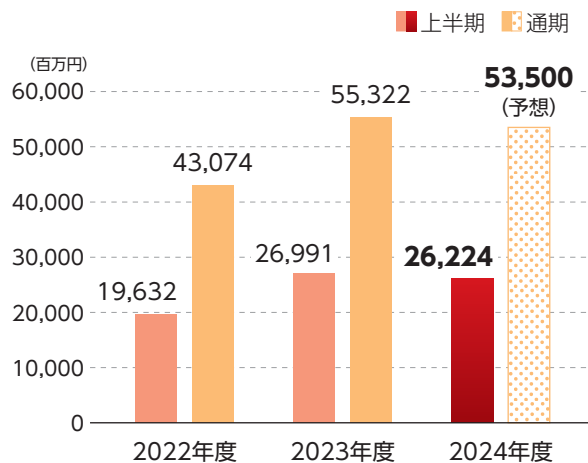


代表取締役社長

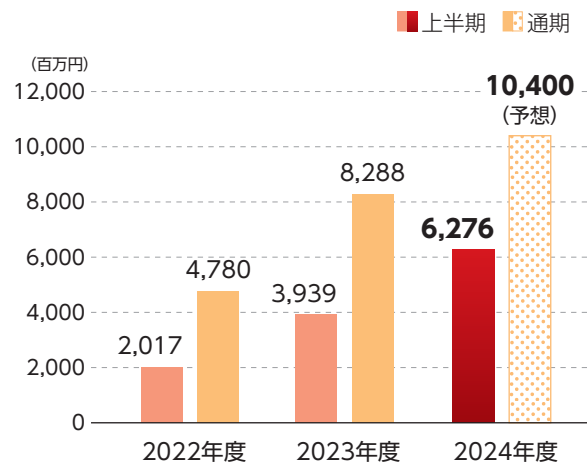
川福 純司

業績ハイライト

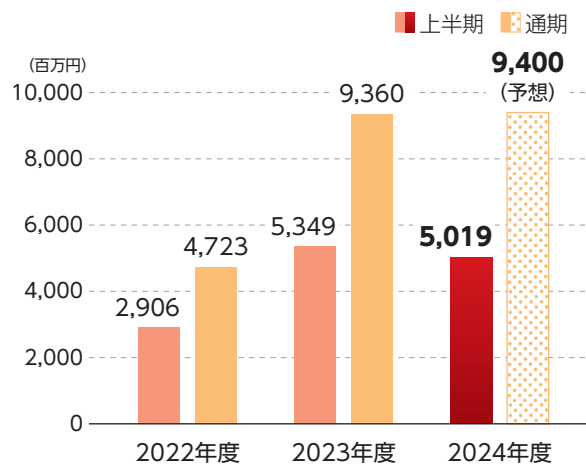
売上高



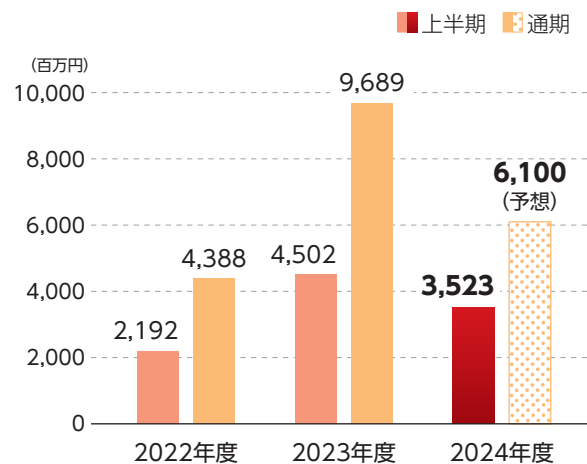
営業利益



経常利益

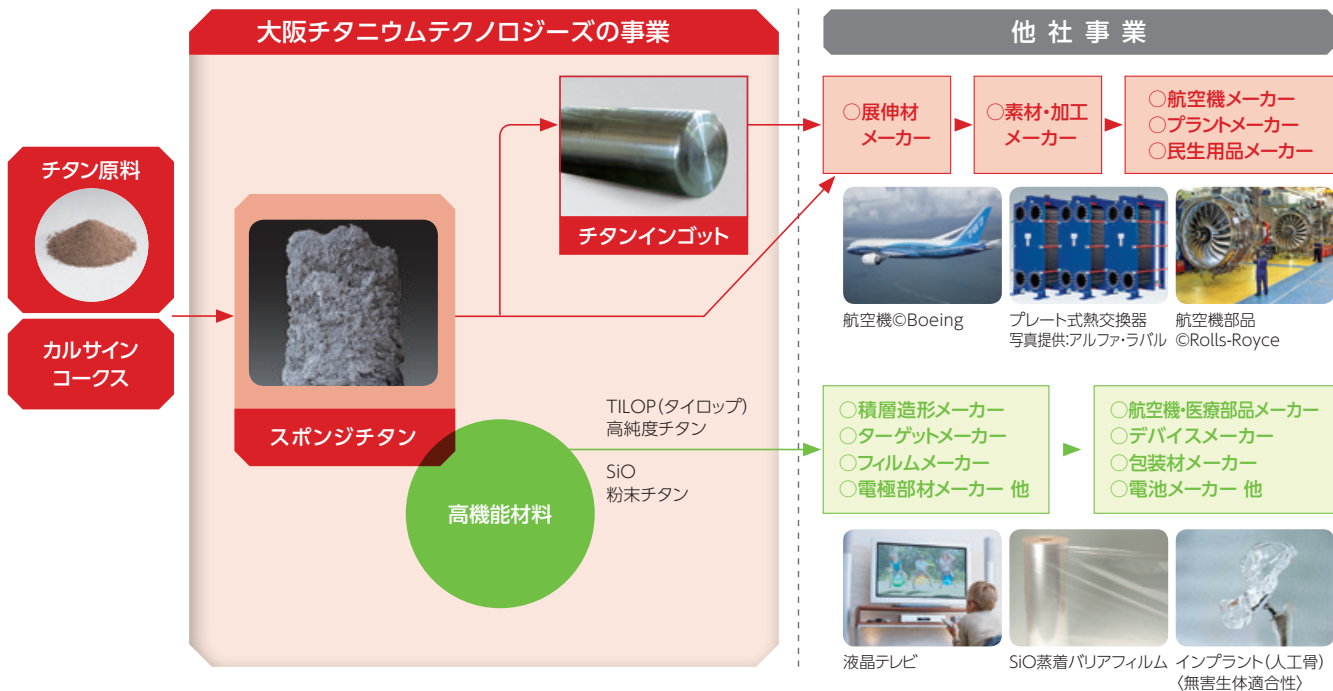


純利益



当社事業の紹介

当社は、高品質・高性能のスポンジチタン、チタンインゴットを製造・販売しております。また、高機能材料の製造・販売に加えて、新用途品の開発にも注力しています。当社の事業は次のとおりです。



当社事業の特徴

チタン事業

独自技術の開発とノウハウの蓄積により、質・量ともにスポンジチタンのトップメーカーとしてお客様から絶大なる評価を頂いております。また、スポンジチタンを主原料としてチタンインゴットも製造・販売しております。

高機能材料事業

航空機部品や医療部品を製造するための原料として期待されるTILOP(タイロップ)、半導体用ターゲット材として使用される高純度チタン、包装材やリチウムイオン二次電池の次世代負極材として使用されるSiO等の製品を製造・販売しております。

1. スポンジチタン生産能力増強を決定しました

航空機用途向け需要の中長期的な更なる成長、一般産業用途向け需要の堅調な推移が見込まれる中、当社のお取引先からの高品質スポンジチタンの安定供給に向けた強い要請にお応えすべく、本社・尼崎工場における既存インフラを活かして、年産1万トンの生産能力を増強することといたしました。また、本計画は、日本政府が定める経済安全保障推進法に基づく特定重要物資の供給確保計画として経済産業省からの認定を受け、最大約80億円の助成金を受給することが決定しております。

今後もスポンジチタンのトップメーカーとして、スポンジチタンの安定的な供給責任を果たし、業界での確固たる位置付けを一層揺るぎないものとするため、力強く前進してまいります。

《計画の概要》

■生産能力増強規模

現行:40,000トン/年 ➡ **増強後:50,000トン/年**
(+10,000トン)

■完工

2027年度末迄の完工を目標とする

■投資額

約330億円

■立地場所・設備内容

本社尼崎工場・スポンジチタン製造設備

2. 認知度向上のための社外広告を掲載しています

人材確保のための企業認知度向上にむけて、今春より交通機関、新聞紙面等にて広告掲載を進めています。交通広告ではJR西日本のほか、京阪神の主要交通機関で「もしもチタンだったら」をコンセプトにチタンの特性とあわせて当社をPRするステッカーを掲出しています。従業員が当社で働く誇りを感じられるよう、また、将来の人材確保にむけた一つのきっかけにするため、今後も認知度向上施策を展開する予定です。



◀会社紹介ページ

左記QRコードより
ご覧頂けます。

※「QRコード」は(株)デンソー
ウェブの登録商標です。



阪神バス



阪神電車尼崎駅



JR新大阪駅



2025年3月期上半期の業績

■ 貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	58,855
現金及び預金	3,966
売掛金	22,059
商品及び製品	15,071
仕掛品	3,290
原材料及び貯蔵品	14,268
その他	202
貸倒引当金	△3
固定資産	37,391
有形固定資産	33,676
無形固定資産	824
投資その他の資産	2,890
資産合計	96,246
負債の部	
流動負債	16,338
固定負債	39,716
負債合計	56,055
純資産の部	
株主資本	40,191
資本金	8,739
資本剰余金	8,943
利益剰余金	22,519
自己株式	△10
純資産合計	40,191
負債純資産合計	96,246

■ 損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	金 額
売上高	26,224
売上総利益	9,321
営業利益	6,276
経常利益	5,019
税引前中間純利益	4,853
中間純利益	3,523

■ キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165
現金及び現金同等物に係る換算差額	△211
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,009
現金及び現金同等物の期首残高	5,975
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,966

■ 事業別売上高

(単位：百万円)

区 分	金 額	
チ タ ン 事 業	国 内	6,789
	輸 出	17,178
	計	23,968
高機能材料事業	2,256	
合 計	26,224	

(注)記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てにより表示しております。

会社の概要

(2024年9月30日現在)

創 業	1952年11月26日
資 本 金	87億3,962万円
従 業 員 数	700名 (注)上記の他、臨時従業員が66名(平均雇用人数)在籍しております。
事 業 所	本社・尼崎工場 兵庫県尼崎市東浜町1番地 岸和田製造所 大阪府岸和田市岸之浦町3番2 東京支社 東京都港区東新橋二丁目14番1号NBFコモディオ汐留2階
事 業 内 容	チタン事業 高機能材料事業

取締役の状況

(2024年9月30日現在)

代表取締役社長	川福 純司
取 締 役	高橋 悟
取 締 役	荒池 忠男
取 締 役	松岡 淳
取締役(常勤監査等委員)	島本 信英
社外取締役(監査等委員)	山口 重久
社外取締役(監査等委員)	村田 雅詩
社外取締役(監査等委員)	大石 賀美

株式の状況

(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	125,760,000株
発行済株式の総数	36,800,000株
株主数	26,444名

大株主

株 主 名	所有株式数 (千株)	所有株式数の割合 (%)
株式会社神戸製鋼所	4,600	12.50
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	3,832	10.41
日本製鉄株式会社	1,807	4.91
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,200	3.26
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	880	2.39
住友商事株式会社	864	2.35
CLEARSTREAM BANKING S.A.	521	1.42
GOLDMAN,SACHS & CO.REG	490	1.33
野村證券株式会社	422	1.15
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	401	1.09

(注)所有株式数の割合は、発行済株式の総数から自己株式数を除いて算出しております。

トップポリシー

1. 私たちはお客様との長期的なパートナーシップを大切にし、お客様の発展に寄与することで私たちの成長を目指します。
2. 私たちは常に「安定品質」、「安定供給」、「安定価格」を目指し、そのための最大限の努力を払います。
3. 私たちは「安全」かつ「健全」な職場作りに力を注ぎ、全てのステークホルダーとの信頼関係を築くことで社会との共生を目指します。

ブランドスローガン

New Challenge Best Quality

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 受付時間9:00～17:00(土日休日を除く)
公告の方法	電子公告 https://www.osaka-ti.co.jp/

【株式に関するお問い合わせ先について】

住所変更等のお届出・ご照会は、証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記当社株主名簿管理人にお問い合わせください。

株式会社 大阪チタニウムテクノロジーズ



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この印刷物は、FSC®認証材及び管理原材料から作られたFSC®認証紙を使用しており、また、環境に配慮した植物油インキを使用しております。

